

## 超強力小麦「銀河のちから」の加工特性を引き出す後期窒素追肥法

### 【1 成果概要】

- (1) 超強力小麦「銀河のちから」の栽培において、原粒タンパク質含有率 11.5%以上、容積重 833g 以上を確保するためには、後期追肥は止葉抽出期～穂揃期に窒素成分で 4 kg/10a 施用します。
- (2) 止葉抽出期の有効茎数が 600 本/m<sup>2</sup>未満で葉色が SPAD 値 55 以上であれば、止葉抽出期～穂揃期追肥量は窒素成分で 2 kg/10a に減らすことができます。

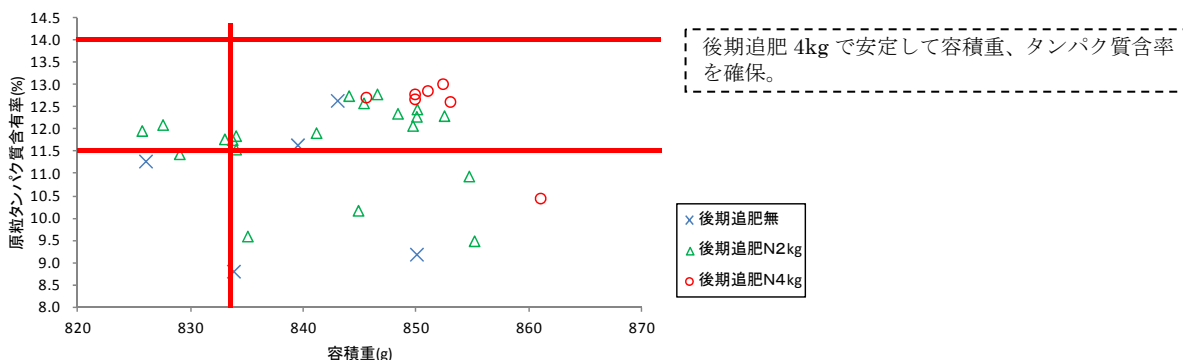


図1 後期追肥の量ごとの容積重と原粒タンパク質含有率の関係 (北上: H25-26 産、現地: H26 産)  
容積重 833g、タンパク質含有率 11.5-14.0%はランク区分基準値。

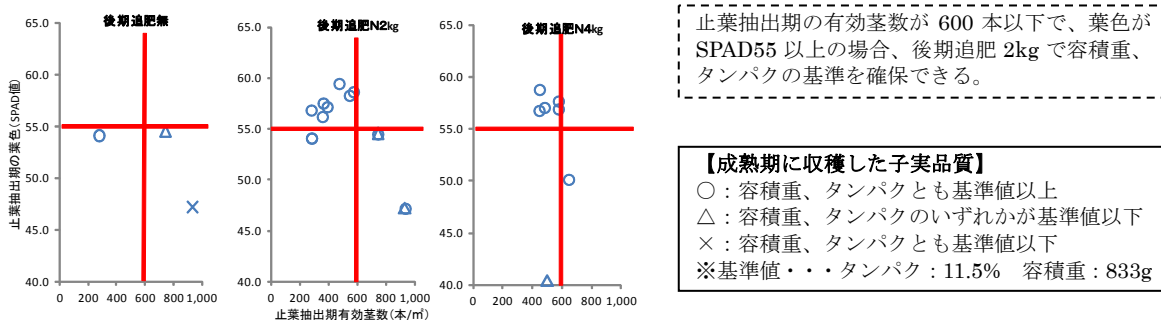


図2 後期追肥の量別に見た止葉抽出期有効茎数と葉色の関係  
(北上: 26 産、現地: H26 産) 葉色は n-1 葉を測定。

### 【2 期待する効果】

良質な県産超強力小麦の安定生産供給が図られます (普及見込み面積 100ha)

### 【3 留意事項】

この成果は「ゆきちから」の栽培法に準じ、播種量 6～8 kg/10a、基肥 4～6 kg/10a の条件においてまとめた結果です。

### 【4 適応地帯】

「銀河のちから」の栽培地帯